

H29年度 いきいき協働事業 業務報告書

ア

講演会		発達障がいとその家族への理解			
		「見方」が変われば「味方」になれる			
講演内容		子どもの行動には必ず理由があり、その子の発達特性を知る事で気になる行動の原因が見えてくるという手法がある。個々の特性を理解し、良い関係を築くための手法について学ぶ内容となった			
参加人数	市民等	保護者:47名/支援者:66名 合計:112名			
	ラボ	7名			
アンケート	回収部数	94部/112	%	84%	
	分析結果	支援のポイントが具体的でわかりやすかったことで保護者は家庭での子どもに対する関わりの実践イメージがわきやすく、支援者は職場での支援対応のヒントを得やすかった。全体の80%以上の参加者が「たいへん満足している/満足している」という回答を寄せていたことはこの講座の企画/運営はコミュニティーのニーズに合った内容だったと評価できる			

イ

講座		発達が気になる子を持つ親支援					
		ペアレントプログラム6回連続講座					
講演内容		「子どもの発達が気になる」「子どもが困ったときにどうしたらよいかわからない」など、子育てに悩む保護者のために行動療法をもとにした子どもとの関わり方のポイントをロールプレイを交え、わかりやすく伝えるための手法を学んだ。					
参加人数	全体	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
保護者	25	22	23	14	17	18	17
支援者	31	26	23	25	26	26	22
ラボ	7	6	6	7	7	6	7
保護者アンケート	回収部数	16部/25			%	64	
	分析結果	子どもの「困った行動」を減らし「良い行動」へと変えていく手法は実生活の中で実践、定着は簡単な事ではないが、この講座を通じて同じ悩みを持つお母さん同士が知り合い、情報交換し、少しでも子育てを前向きにとらえることに繋がったことは大きな成果といえる。					
支援者アンケート	回収部数	24部/31			%	77	
	分析結果	集団の中で「指示が通らない/問題行動が目立つ」生徒たちの対応は段階を踏んで、少しずつ良い行動へと繋げていける手法の効果が優れていることを確信した。この手法の学びは発達障がいがある、なしに関わらず園内でのクラス作りにおける円滑な運営に貢献できた。					

いきいき協働事業から学んだこと

支援者と保護者に向けた地域での取り組み

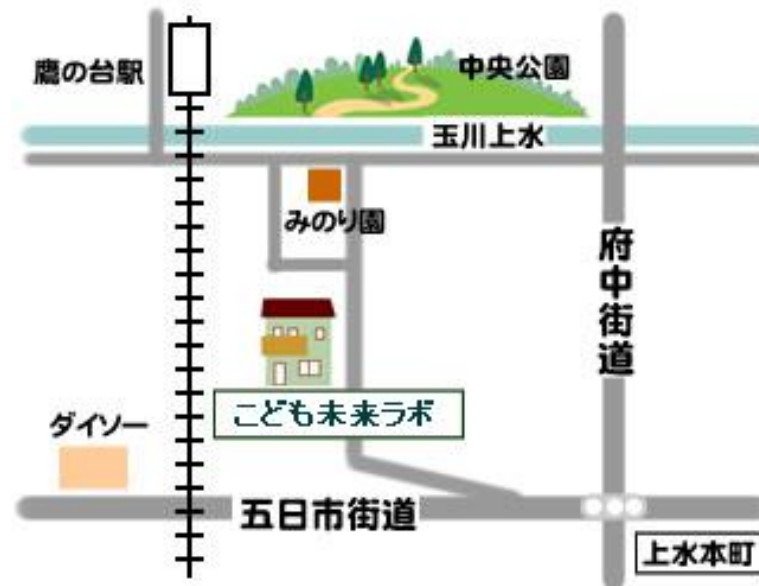


NPO法人こども未来ラボ

発達支援教育士 芋生 多恵子(いもう たえこ)

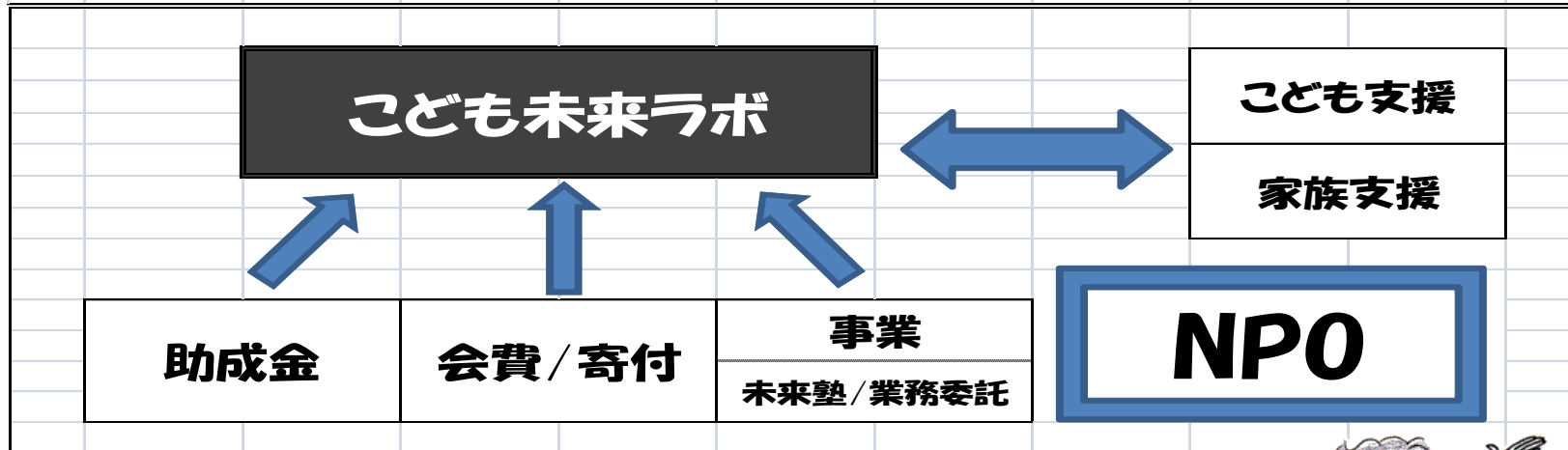
NPO法人こども未来ラボ

特別支援教育士、早期支援教育士の専門職を持つ理事たちを中心に会員約30名で地域の課題を解決するために官民で発達障がい者支援に取り組んでいる団体です。



NPOとは？

地域の課題解決のためにその思いや志が提供する側とされる側とで行ったい来たいするのがNPO活動となります



今後ラボが目指すことは



こども支援	その子の「今」ではなく、社会の一員として自立/就労を事を考えた「今、これから必要なサポート」
	未来塾での学習支援、感覚統合(微細運動)、ソーシャルスキルトレーニング
家族支援	その子の「一番の良き理解者」になってもらうためのサポート
	ペアレントプログラム、勉強会、シンポジウム、サポートブック

家族支援を地域で！

- 周りの子どもたちと比べて上手くいっていない我が子を見て困っているのは親なのかもしれませんが→その子なりのステップをわかって環境を調整していけば、その子の育ちを支え、自立へつなげることができます。

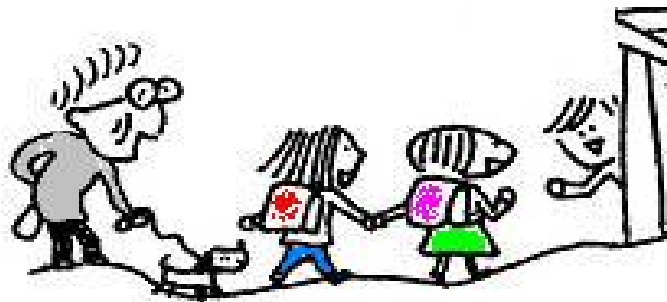
ペアレントプログラム（行動で見て、行動で考える）

ペアレントメンター（共感性の高さ、子育てを先に経験した先輩として先の見通しをポジティブに伝えることができる）

発達障がいを持つ子を持つ親の気持ち

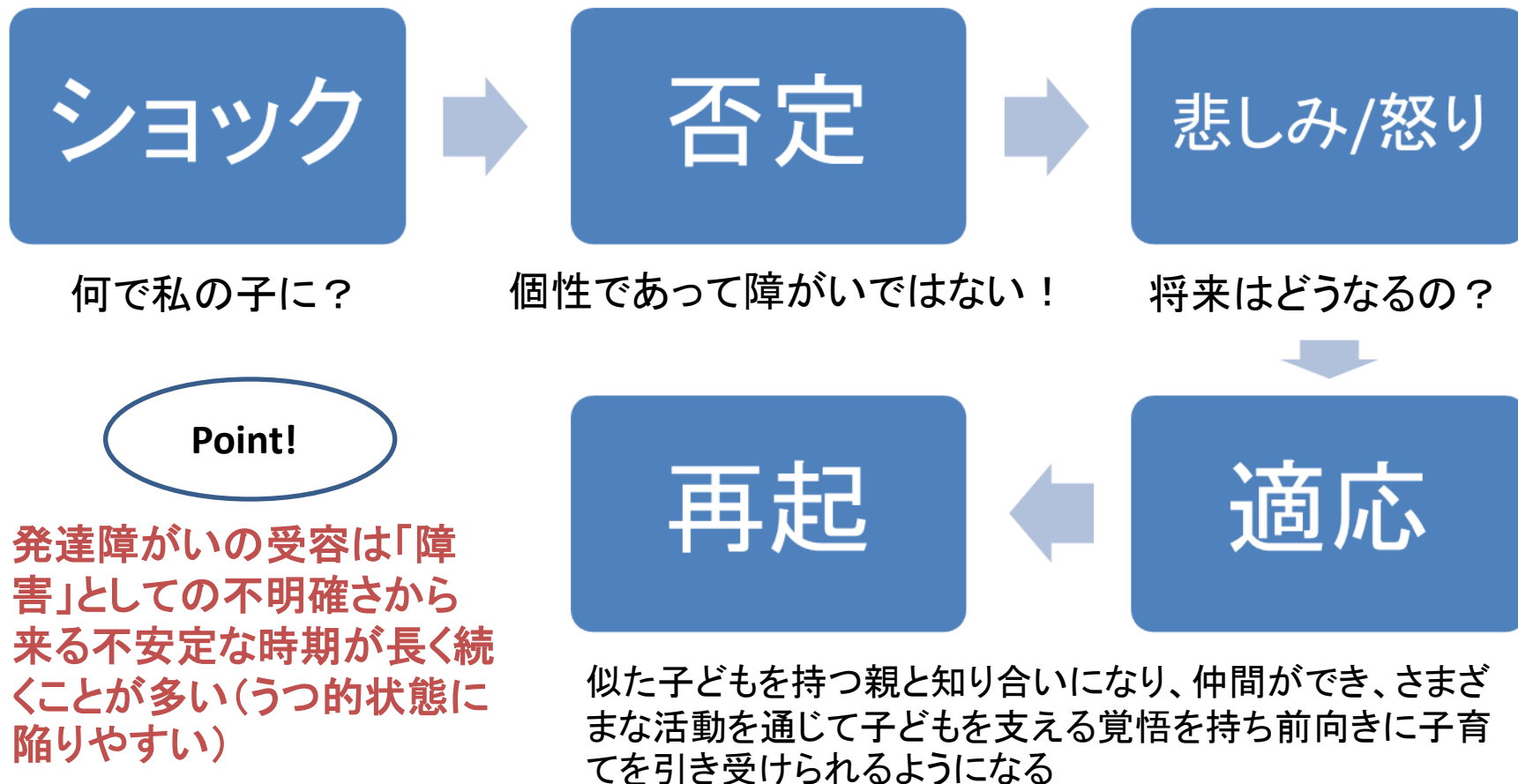
- いくら叱っても同じことを繰り返す、、、
- どうすれば伝わるの？
- だらしがなくて嫌になる、いくら言ってもなおらない
- 他の子はいろいろとできるのにうちの子はどうしたらできるようになるの？

気が付くと怒っている自分→自己嫌悪→こんな自分を変えたい！



母の障害受容～段階説とは異なる受容の形について

行動面での問題が目立つ→思い切って医療機関へ→いきなり診断名→ショック+ほっとする



障がい者支援課との協働事業の魅力

- 障がい者支援課の持つ「連携力、広報力」とこども未来ラボが持つ「地域密着型の経験、人脈、お母さんたちからの情報」を融合し、発達障がいの特性を理解できずに子育てに悩むお母さんたちや支援者の方たちにペアレントプログラムの手法を学ぶ講座を企画/運営することになりました。

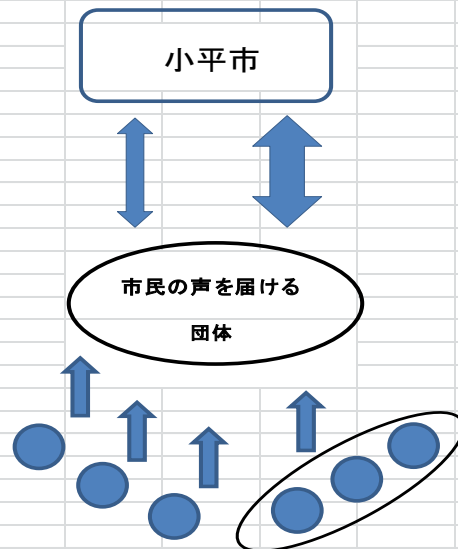
NPO法人こども未来ラボ 小平市との協働事業の捉え方

協働から広がる One for all, all for one」

- ① 地域の課題」に気付き、行政との隙間を埋める活動であることを認識している事
- ② 課題解決の方法を提案できる事
- ③ 行政側と団体とはお互いに尊重し合える関係である事
- ④ 団体は課題に関しては経験値、専門性が高い事

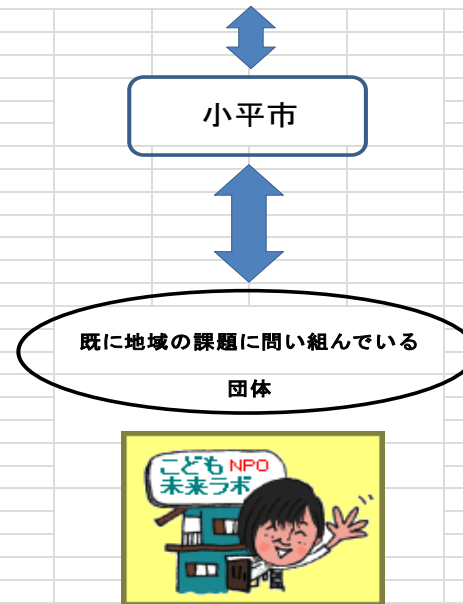
ケース①

東京都の政策がまだ決まっていない課題



ケース②

東京都の政策と地域の課題が合致している



なぜ、今、ペアレントプログラムが 必 地域で必要なのでしょうか？

- 育て難さを抱えるお母さんたち、支援者たちに対して、その子の持つ「困り感」はその子の「性格/親の躰」ではなく、「特性」からであり、その対応がとても重要である事を知ってもらうため。
- 発達障がいを持つこどもの健やかな成長はその子本人や家族の責任ではなく、社会全体の責任と捉え、個を尊重し、環境を調整することでその子らしく生き、自立してもらう事の大切さを知ってもらうため。

発達障がいとその家族への理解 ～「見方」が変われば「味方」になれる～

9月からの市民向けペアレントプログラム(6回連続講座)のプレ講演会です。



講師：藤原 里美 氏 チャイルドフッド・ラボ 所長

臨床発達心理士・自閉症スペクトラム支援士
早期発達支援コーディネーター・SV・保育士
明星大学非常勤講師

子どもの行動には必ず理由があります。その子の発達特性を知ることによって、気になる行動の原因が見えてきます。東京都立小児総合医療センターで臨床発達心理士として多くの子どもと接してきた講師が、子どもの姿から個々の特性を理解し、良い関係を築くための手法について語ります。

日時 平成29年6月17日(土)
14:00～16:00 (開場 13:30)

場所 JA 東京むさし農業協同組合
小平ファーマーズ・マーケット ムーちゃん広場 2階
小平市小川町 2-1827 (西武多摩湖線青梅街駅 徒歩1分)
* お車でのご来場はご遠慮下さい

(ムーちゃん広場では、小平産の新鮮な野菜、植木、花などを販売しています)

定員 100名 (先着順・予約制)

申込み 平成29年5/22(月)～6/9(金)までに
TEL・FAX・メールにてお申込み下さい。

①講演会名 ②氏名 ③連絡先(TEL・FAX)
をお知らせください

入場無料

手話通訳あり
要約筆記あり

申込み・問合せ先

NPO 法人 こども未来ラボ
TEL&FAX ● 042-359-4587
machikado.mirai.imotae@gmail.com
(日曜日を除く)

主催 小平市

担当 障がい者支援課

TEL ● 042-346-9540

この講演会は小平市とNPO法人こども未来ラボが協働で行う事業です

～「見方」が変われば「味方」になれる～ ペアレントプログラム 6回 連続講座



講師：藤原 里美 氏

チャイルドフード・ラボ 所長

臨床発達心理士・自閉症スペクトラム支援士
早期発達支援コーディネーターSV・保育士・明星大学非常勤講師

子どもの行動には必ず理由があります。その子の発達特性を知ること、気になる行動の原因が見えてきます。東京都立小児総合医療センターで臨床発達心理士として多くの子どもと接してきた講師が、子どもの姿から個々の特性を理解し、良い関係を築くための手法について語ります。

セッション

- ① 9月2日 ■ 子どもの行動を3つに分けましょう
- ② 9月16日 ■ 肯定的な注目を与える
- ③ 9月30日 ■ 子どもの協力を増やす方法①～効果的な指示の出し方①～
- ④ 10月14日 ■ 子どもの協力を増やす方法②～様々なアプローチ～
- ⑤ 11月4日 ■ 好ましくない行動を減らす①～上手な見て見ぬふり～
- ⑥ 11月25日 ■ さらに達人を目指す：子どもとの温かい関係づくりのために

入場無料

手話通訳あり
要約筆記あり

開催場所 小平市福祉会館 セッション1～5 小ホール 4F
セッション6 市民ホール 5F

時間帯 14:00～16:00 (開場 13:30)

定員 100名 申込み対象者 小平市在住 全6講座 参加可能な方

申込み 平成29年7/21(金)～8/5(土)
①講演会名 ②氏名 ③連絡先 ④保護者/支援者/その他を
TEL・FAX・メールにてお申込み下さい。

問合せ先 NPO法人こども未来ラボ TEL&FAX ▶ 042-359-4587
machikado.mirai.imotae@gmail.com (日曜日を除く)

H29年度 小平市ペアレントプログラム概要

期間

(9月2日～11月25日)

6回連続講座

対象者

小平市在住で発達が気になる5～8歳の位のお子をお持ちの保護者の方(全6回参加可能な方)

講師：藤原里美 氏

保護者参加者 25家族

支援者参加者 29名
(幼稚園、保育園、小学校)

小平市で行ったペアレントプログラムの特徴

保護者のみ 10名参加のプログラム

支援者にも参加してもらおう形に変更。保護者6名を選抜、支援者は連続講座を通じて手法を学ぶ先生とお母さんたちのやり取りを見る、支援者たちはその手法を学び現場で実践できるようにする

保護者を4～5名のグループに分け、デモンストレーターとして連続ではなく1回行う→より多くのお母さんたちに参加を可能にした。支援者たちは講座が始まる前、後に30分の講座を組み支援の場での有効な情報やテクニックの確認を行い、現場で実践できるようにした

アンケート結果 保護者

➤ 困った行動を繰り返す我が子の対応の視点はやや変わった	63%
➤ 講座で得た手法を実際にこどもに実践してみてやや難しかった	63%
➤ こどもの困った行動に対してやや上手になった	69%
➤ こどもの行動上でのほめる回数が増えた	81%
➤ こどもの行動上での変化をやや感じている	69%
➤ こどもとのコミュニケーションや指示が入りやすくなったと思う	69%
➤ こどもの困った行動はやや減ったと思う	50%
➤ペアレントプログラムは実践してみて有効だと思う	88%

ペアレントプログラムに参加したお母さん からのメッセージ①

- 経験のシェアが出来て、とても役に立ちました。自分の気持ちを穏やかにしてこどもに接することの大切さを知りました。
- いろいろな事例を聞く事が出来てとても参考になりました。
- 自分だけでは気付かない成功例、失敗例が聞けて、悩みを共有出来て気持ちが少し楽になりました。

ペアレントプログラムに参加した お母さんからのメッセージ②

- 今まで子育てを習ったわけでもなく、子どものやる事は自分の評価で、世間体ばかり気にしていた自分が息子の不登校のお陰で見方を変えるチャンスをもたらしたように思いました。
- こどもを叱ったり、注意することはすぐには減らないけれど少しは冷静に対応ができるようになったとおもいます。「最後までお母さんの話を聞いてくれてありがとう」と話が終えられるようになり、親子関係が良好である事の大切さを知りました。

ペアレントプログラムの行動療法を知った結果

その人の周りにはその人の強烈な個性、バランスの悪さを受け止めてくれる家族や仲間たちが増える。

→ スムーズな自立へ

親や周りの人たちは自分の思い通りに育てるのではなくその子のありようで育てる：横並び的な考え（みんなちゃんとやれているでしょう！ どうしてあなたは出来ないの！）

→ その子の自尊感情を傷つけることの減少につながる

アンケート結果 支援者

➤ 20歳代50% 30歳代13% 40歳代13% 50歳代21%	
➤ 6回連続講座の参加率 5回45% 全回45%	
➤ ペアプロが取り上げる内容は支援者として満足のいくものでしたか？	90%
➤ ペアプロが取り上げる内容は保護者のサポートとして満足のいくものでしたか？	90%
➤ ペアプロが取り上げる内容は子どもたちのサポートとして役に立つものでしたか？	96%
➤ 実施会場について とても満足	95%
➤ 日程、時間帯について とても満足、満足合わせて	75%
➤ 回数について 満足	83%

ペアレントプログラムに参加した支援者からのメッセージ①

- 保護者の方たちの悩み事を実際に聞く事で真剣さや前向きさが伝わってきた。
- 支援者側の勉強不足は否めないが保護者に無理なく伝えられる方法をこのプログラムで学んだ。
- 気持ちに余裕が少し出て、子どもたちと共に頑張りたい！という気持ちになった。

ペアレントプログラムに参加した支援者からのメッセージ②

- 違う園や保護者同士の話し合う機会は「同じ」という共感で安心し、心強く感じた。
- 失敗があってもそれは当たり前、前向きなプログラムなので取り入れたいと思った。
- 全職員に広げていかなければならないプログラムと感じた。
- 保護者の大変さを良く知る機会となった～休みもない、代わりの人もないのですから

ペアレントプログラム実施 **After**

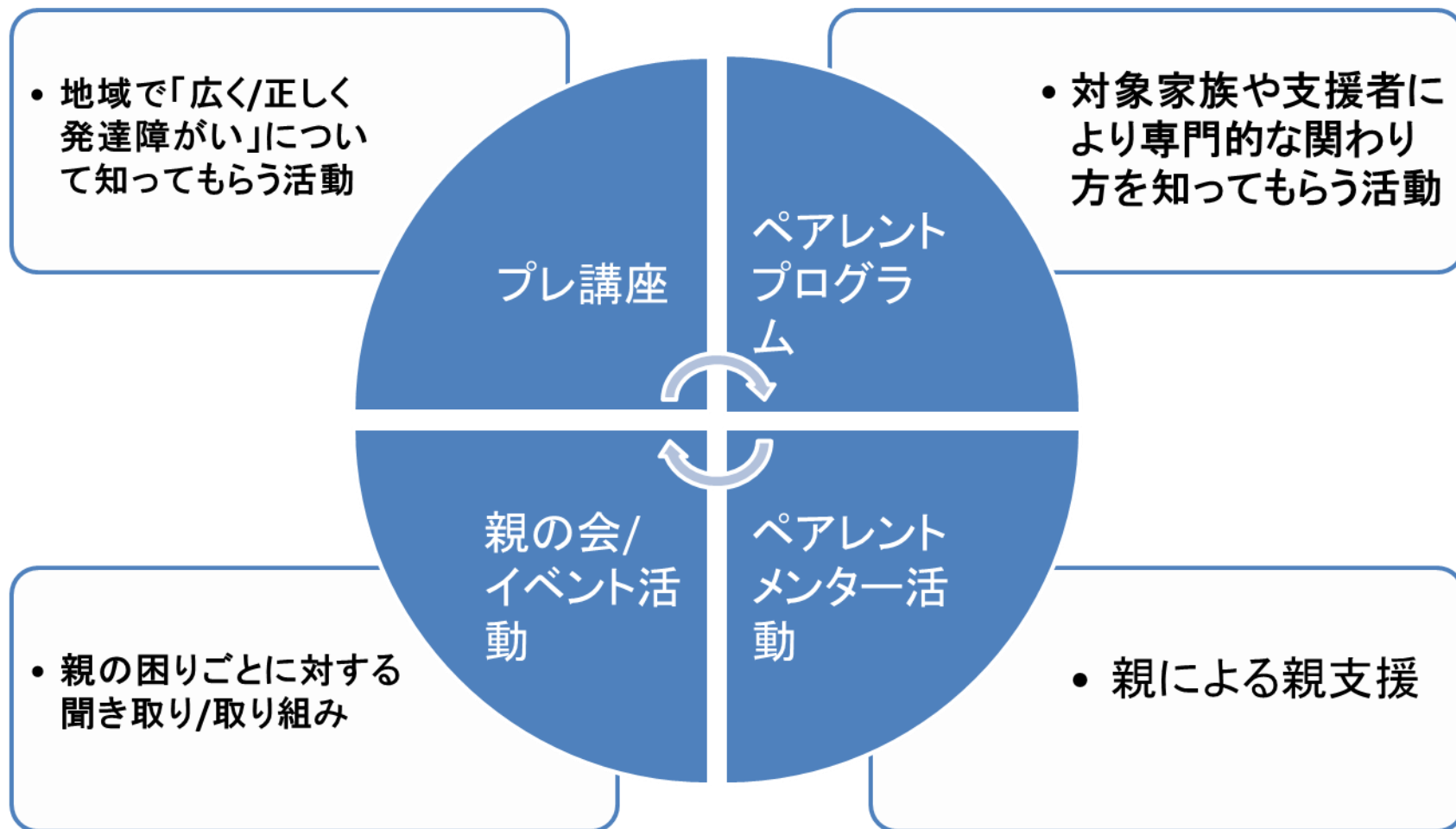
定期的な相談/
支援希望

保護者11名
(44%)

保育園3園
(うち1園は12月13日に
園内研修を実施)

親カフェ「ふらっ
と」2回開催、
フットサル開催
(ハートハートプロジェ
クトとのコラボ)

今後のペアレントプログラムが目指すもの (今回の結果を踏まえ)



「みんなちがっているけど おなじテストをしよう！
さあ、あの木に登ってごらん！」

